

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 青少年の健全育成

施策コード 020203

1. 施策の担当	
主管課	教育部 青少年課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切に、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）	節 第2節 生涯学習・スポーツ
	施策	青少年の健全育成	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の青少年健全育成団体の自主的活動を支援します。</li> <li>地域と連携し、多様な青少年活動に対応できる人材の育成に努めます。</li> <li>各施設での青少年の居場所づくりを推進します。</li> </ul>	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年健全育成団体の自主的活動は活発であり、地域を越えた交流事業も行われています。</li> <li>地域に密着した青少年を指導するため、さらに地域全体で青少年を支える環境づくりの支援が求められています。</li> <li>青少年の居場所となる各施設を活用している実績があります。稲倉青少年野外活動センターについては、指定管理者制度の導入、民間の能力を活用し、さらなる利用促進が期待されています。</li> </ul>	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
青少年及び青少年と関わりのあるすべての市民	

意図（どのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭では、親が子どもとコミュニケーションを図りながら学び合い、地域においては、大人が意識して子どもたちと関わるような状態をめざし、青少年が健やかに育つ環境づくりを進めます。</li> <li>「地域の子どもは地域で育てる」環境を作ります。</li> <li>市内の青少年健全育成団体の自主的活動の充実をめざします。</li> </ul>	

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			52.6				
重要度（偏差値）			53.1				

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H25決算	H26決算				
コストの内訳	人件費	千円	61,614	59,452				
	事業費		19,534	20,533				
	フルコスト		81,148	79,985				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金		1,322	772				
	市債							
	その他		1,341	394				
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		78,485	78,819				
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		16,871	19,367				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		青少年センター年間利用者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値			15,000.0	9,000.0	9,000.0	9,100.0	9,100.0
実績値			9,982.0	8,824.0	9,519.0		
達成度			66.54	98.04	105.76		

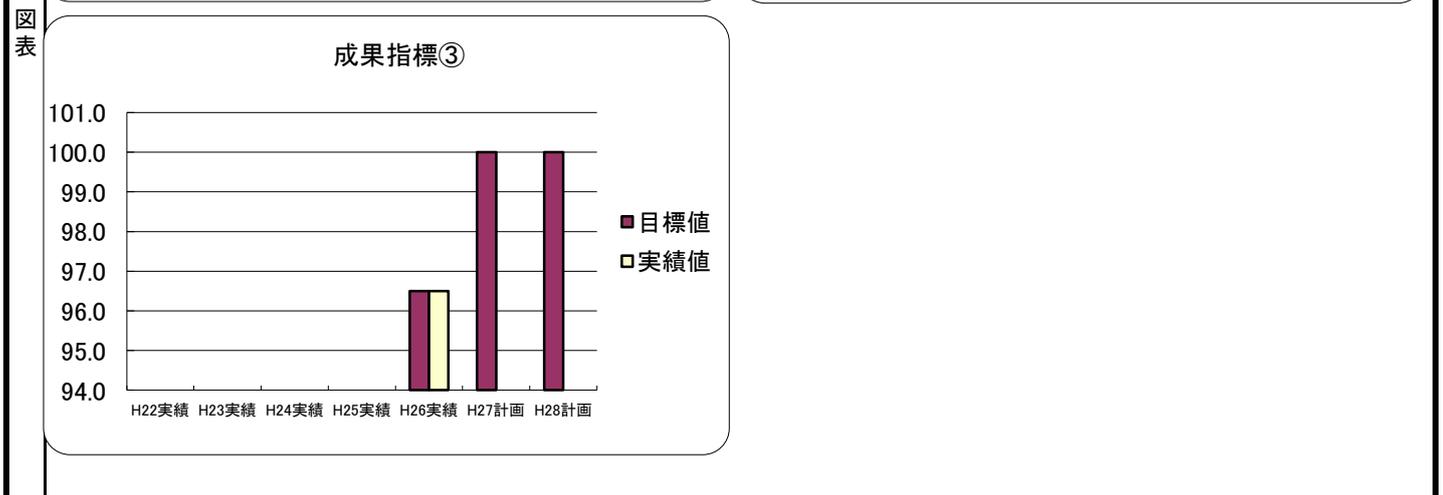
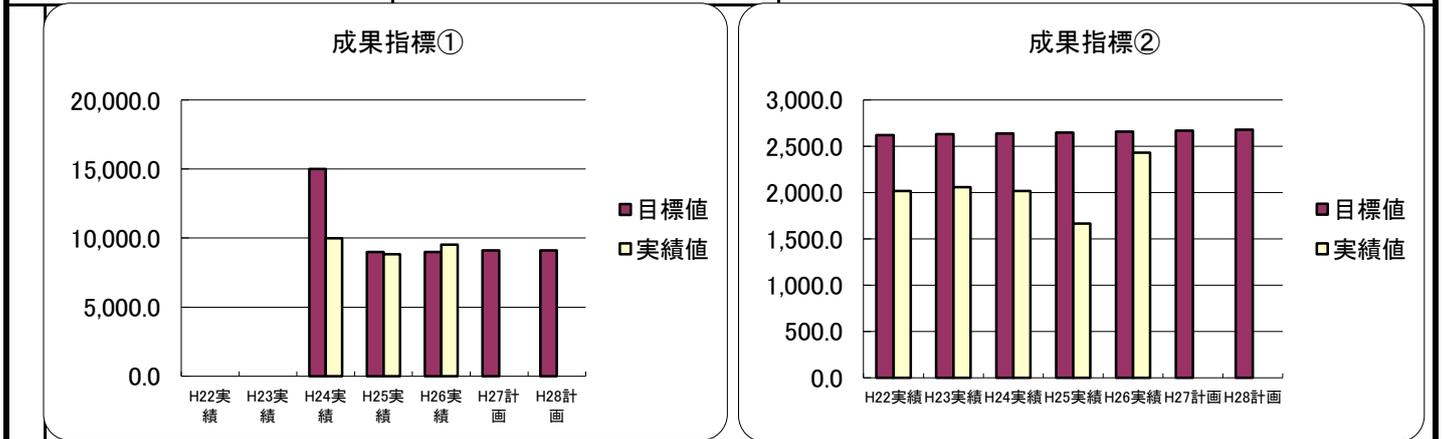
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この数が増えているかを把握することで、「青少年の居場所づくり」の場として、利用状況や利用者ニーズを把握できます。	H24 5年間で年間利用者が3%程度の増加を目標値として設定した。 H25 施設移転し延床面積1/3となった。デイビス事業に影響大きく出ている。(H24 4,112人 H25 3,222人 △890人) によって、移転前の実績値9,982人から890人を減した約9,000人に、めざそう値を変更する。	講座開催回数を増加させたこともあり、参加者数増(前年比695) 目標達成。施設の規模縮小を考慮した目標値の見直し(H24年度～)を行ったことによる達成であり、現状の目標値の設定を最低ラインとし、引き続きこどもの居場所づくりとして事業展開を要する。

② 成果指標 2		稲倉青少年野外活動センター年間利用者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	2,620.0	2,630.0	2,640.0	2,650.0	2,660.0	2,670.0	2,680.0
実績値	2,019.0	2,057.0	2,018.0	1,667.0	2,430.0		
達成度	77.06	78.21	76.43	62.9	91.35		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この数が増えているかを把握することで、子どもたちの自然体験を推進する場として、利用状況や利用者ニーズを把握できます。	5年間で年間利用者が3%程度の増加を目標値として設定した結果。	目標値には及ばなかったが、平成26年度より民間ノウハウを活用する指定管理者制度に移行したことにより、利用者数増(前年度比763)。指定管理者も様々なアイデアを提案し、今後も利用者増が見込まれる。

③ 成果指標 3		稲倉青少年野外活動センター満足度					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値					96.5	100.0	100.0
実績値					96.5		
達成度					100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
利用者の満足度を把握できます。指定管理者は、5段階評価で満足度調査をしており、普通評価以上(大変満足、やや満足、普通)の合計を調査人数で割り、満足度を計算しています。	利用環境の充実を目指し、100を目標値とした。	指定管理者制度に移行した初年度の数値としては、一定満足を得られている結果となった。指定管理者の様々なアイデアの提案等で、満足度アップを期待したい。



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	青少年健全育成に大きな役割を担っている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	青少年の健全育成施策は社会的に要望の強い施策である。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	青少年健全育成施策は、社会的に大変重要な施策であり必要不可欠であるとともに、昨今の青少年を取り巻く状況を考えると今後重点事業である。
	合計点	(10点中) <b>7点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	人的、経費的に厳しい中、創意工夫により初期の目標値をめざし、効果が見いだされた。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H26年度決算額			H27年度予算	三次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01058800	青少年健全育成事業	14,883	1,854	1,854	1,950	B
2	01062000	成人式事業	4,856	872	872	929	B
3	01062100	青少年指導員事業	3,943	2,701	2,701	3,537	B
4	01062200	ジュニアリーダー育成事業	4,122	238	140	317	B
5	01063600	青少年センター運営事業	14,007	2,418	2,409	2,404	B
6	01063700	青少年センター施設管理事業	14,884	3,268	2,981	2,774	B
7	01064200	稲倉青少年野外活動センター管理運営事業	783	7,000	7,000	7,000	B
8	01080770	おおさか元気広場推進事業	1,974	2,182	1,410	2,758	B
合計			59,452	20,533	19,367	21,669	